

事業計画書

事業名	豊町サロンで支える地域づくり
実施場所	豊町自治会館
実施予定期間	平成29年10月1日～平成30年3月31日

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>【事業概要】</p> <p>超高齢化率が3割強となった豊町では、自治会役員と一般会員が一諸になって地域福祉を考え、実行に移す時期に来ている。その背景として、地域包括ケアシステム(2025年問題:団塊世代の後期高齢者対応)構築の中で、地域では、「介護」の問題を取り上げた「地域づくり」が求められている。</p> <p>具体的には、今まで市で個別に支援されてきた①介護予防、②生活支援、③社会参加を、町内で融合して活動できるような仕組み作りと、その運営を豊町自治会で補完的に担いたい。なお、仕組み作りは、「豊町サロン」(本年6月より開始)の中で社会福祉部(新規部員3名)が中心になり、一般会員の意見を踏まえて行う。</p> <p>【当事業計画の範囲】</p> <p>「豊町サロン」の裾野を広げるために、ファン(期待して貰える人)づくりを重点的に行うと同時に、当面のリーダー的人材確保に繋がるような活動を行う。その際、外部講師を招いた講座で、①「地域づくりへの関心(高齢者を取り巻く地域福祉を題材に)」→②「地域との関わり方(地域デビューの支援現場を知る)」→③「地域で活かせるセカンドライフ(地域デビューの実践)」の順に、サロン活動と社会参加への関心を喚起したい。これらの活動結果は、次年度の自治会活動計画や、豊町の地域づくり瓦版へ反映する。</p> <p>【全体スケジュール】</p> <p>平成29年:</p> <p>10月 当面の地域づくりの企画検討と、活動案の作成。</p> <p>11月①講座(第一回:地域づくりへの関心): (豊町自治会館) 高齢者を取り巻く地域福祉を題材に、地域づくりを考える。</p> <p>12月②講座(第二回:地域との関わり方):(静岡、地域デビュー支援地区) 地域デビューの支援現場を訪問し、目指すところや方法論・期待効果などを知る。更に、現場の支援スタッフを交えて、豊町の実情に即したテーマで意見交換を行う。</p> <p>平成30年:</p> <p>1月③講座(第三回:地域で活かせるセカンドライフ):(豊町自治会館) ②講座で学んだ内容を取捨選択し、豊町の地域づくりに役立つような内容で、地域デビューの実践講座を開催する。</p> <p>2月 次年度の活動計画策定と提案(次年度自治会へ)</p> <p>3月 豊町の地域づくり瓦版(仮称)発行(町外へも配付)</p>

◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。
ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

現在の「**豊町サロン**」活動（「健康体操」や「おしゃべり」など）に加え、当講座開催でサロン活動への関心が高まる。同時に、参加者自身のセカンドライフを考え直すきっかけとなり、行動変容が期待できる。自治会役員と一般会員が一緒になって地域福祉を考え、活動を推進するための**協働意識**が醸成される。

なお、高齢化率を示す豊町の人口動態（65歳以上：現在30.5%→5年後37.7%→10年後46.7%）は、自治会会長が、サロン開催や自治会組長会議の場で、随時話題にされているため、当講座を効果的に開催できる素地が出来つつある。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

<p>公益性</p>	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。</p> <p>当講座参加者であるセカンドライフ世代の社会参加（就労、ボランティア等）を促すことができる。同時に地域での役割りも認識され、自分のペースで、地域も活躍の場と認識される。</p>
<p>発展性</p>	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>当講座内容を検討する段階から、地域住民や自治会役員の意見を踏まえつつ、市役所の関連部署、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と相談しながら進める。これらの専門組織からアドバイスを受ける機会を得て、「地域づくり」の新たな知見を獲得できる可能性がある。これらの情報を町内のみならず、近隣町内へフィードバックすることができる（→瓦版へ）。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>30～40年前の新興住宅街が、そのまま高齢住宅街と化しており、当講座は現在の地域の有り方に、一石を投じることになる。一方、手つかずの住宅街なため、地域資源である多彩な人材が埋もれている可能性が高く、発掘に努めることができる。</p>
<p>必要性</p>	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>当講座開催は、地域包括ケアシステム構築の中で今一度、高齢者を取り巻く地域福祉の有り方を、問い直すきっかけとなる。金岡コミュ総会（5/7日）でも、この推進は、本年度の活動計画の一つとして取り上げられている。</p> <p>更に、少子高齢化の今後、世代を超え、地域を超えて継続・発展されるべき「地域づくり」活動に繋がり、そのスタート地点にある。</p>
<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>新規性は当講座（「豊町サロン」活動）が、次の2つの軸で捉えられる点にある。</p> <p>①横軸：サロン参加者の裾野を広げる（期待して貰えるファンづくり）。</p> <p>②縦軸：社会参加を促し、地域でリーダーシップを発揮できる人材の確保・育成である。</p> <p>この両軸のサロン活動で、町内の足場固めを行う。</p>

継続性	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動するために、どのように取り組んでいくについて記載して下さい。</p> <p>「地域づくり」は、地域住民主体の活動と位置付けながらも、豊町自治会は、そのための意見交換、方針の取り纏め、運営（資金調達を含む）等を司る仕組みを構築し、年度毎に活動方針を更新する役割りを担う。</p> <p>なお、当事業は、沼津市の地区辺境（地区センターへの移動難民）、小地域の「居場所づくり（豊町サロン）」活動に止まらず、地域包括ケアシステム構築の中で、地域の役割りを見据えた「地域づくり」を目指している。</p>
-----	--